

地域が輝く未来をつくる!! 誰もが輝く未来をつくる!!

発行者 静岡県議会議員 伊藤 和子

ごあいさつ

爽やかな初夏の訪れを感じる季節になりましが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

4月に行われた静岡県議会議員選挙では、2期目の当選をさせていただき、心から感 謝を申し上げます。1期4年間で培ってまいりました経験と知識を活かし、再び県や地域 の諸課題に対し、全力で取り組んでまいります。

県議会では文教警察委員会(所管:教育委員会、公安委員会)の副委員長、議会運営 委員会の委員に任命され、あらためて、2期目としての責任の重さを感じております。

今後はコロナ禍で疲弊した地域経済を再び活性化させ、昨年の台風15号による災害

の復旧・復興を早期に進めてまいります。

少子高齢化社会を迎え、子どもを安心して育てることができ、老後 に不安のない社会の実現に向け、これからも地域の皆さまに寄り添 いながら、活動をしてまいります。

今後もご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



Kazuko Ita

いとう和子活動

みんな 0

地域に出向いて、皆さまのご意見やご要望をお伺いいたしました!

今回は、昨年の台風15号による被害の早期の復旧・復興について、地域包括ケアシステムについて、太田川の濁水対策について、県道整備に よる歩道の段差解消等、様々なご意見・ご要望をいただきました。参加してくださった皆さま、ありがとうございました。







これからも皆さまの声を県や市町に届け、形にしてまいります!

(各地域での意見交換会)

森の石松供養祭に参列

3月19日(大洞院 森町)

森の石松供養祭に参列いたしました。 今後も地元イベントを大切に、観光振興に

取り組んでま いります。





令和5年度 森町消防団入退団式に出席

4月2日(森町文化会館)

令和5年度は309名体制(満期 退団者44名、入団者25名)とな りました。来賓祝辞では、退団者 の皆様には長年のご尽力に敬意 と感謝、入団者の皆様には今後 のご活躍を祈念いたしました。



ふくろい春の お茶まつりに出席 4月1日(法多山尊永寺境内)

ふくろい春のお茶まつり開 会式に出席いたしました。

今後も静岡県の茶産業を 応援してまいります。



東アジア文化都市2023 静岡県 春の式典に出席

5月2日(グランシップ 静岡市)

出席いたしました。

日中韓でそれぞれ毎年1都市を選び、文化や芸 術で交流を深める国家的 プロジェクト。今年度は静 岡県が選ばれ春の式典に





県議会2月定例会

3月1日・2日 危機管理くらし環境委員会で質問いたしました!



「わたしの避難計画」の普及促進について

- ① 普及員の具体的な活動内容を伺う。
- ▲ 【危機政策課長】 地域の防災訓練や研修会において、講師として住民に対して「わたしの避難計画」をどうやって作れば良いのかを指導していただくことが中心的な業務である。

このほか「わたしの避難計画」を作った後にアンケート等を実施し、 地域における防災の課題等を集計し、作成した計画を回収して避難先

の需要をとりまとめるなど、発展的な活用方法についても講習会の中で受講していただき、「わたしの避難計画」を活用した自助・共助の取組の場面で様々な活躍を考えている。

「わたしの避難計画」は こちらからご覧になれます→



地震対策オペレーション2023の実施について

- 新設された市町支援機動班が訓練に参加したが、その検証結果は?
- A 【危機対策課長】 今回の訓練では、県災害対策本部から静岡市内山間部の想定災害現場に3名、賀茂・東部・中部・西部の各方面本部から管内の市町役場にそれぞれ3名、合計で15名を派遣する訓練を実施した。想定災害現場に派遣した班により、訓練で実施した県災害対策本部の本部員会議に対し、中継で映像を交えて現地の状況を伝えることができたほか、市町役場に派遣した班から、派遣先の市町の災害対応の状況等を収集することができたことから、今後の災害時における市町支援機動班の初動対応を確認できたと考えている。今後も、研修や訓練を通じて、各班員のスキルに磨きをかけ、被災された県民に一刻も早く支援が届くように、こういった訓練を重ねてサポートしていきたい。





市町支援機動班について

- ① 想定外の甚大な被害が発生し、現在の市町支援機動班の人数では対応できない状況になった場合の対応策を考えているか。
- A 【危機対策課長】 南海トラフ地震等の大規模地震が発生した場合、 市町支援機動班が全県を支援するのはやはり難しいのではないかと 考えている。こうした場合の制度として、総務省に応急対策職員派遣 制度があり、これに基づいて災害マネジメント総括支援員の派遣を求 め、被災地外から災害応急対策の知見を持った行政職員を市町に派



遣する。このための受援体制についても引き続き整備を進めていく。

総合防災アプリ 「静岡県防災」 はこちらから ご覧になれます—



ふじのくに住みかえる事業費の新規事業について

- プレワーカー向けのターゲティング広告と、テレワーカー等交流会の 狙い・詳細について伺う。
- A 【企画政策課長】 テレワーカー向けターゲティング広告については、 グーグル広告の機能を活用して、配信地域を東京圏、あるいは東京23区 に設定した上で、Web会議システムなどを頻繁に利用するユーザーを ターゲティングし、効率的に広告を発信。

また、テレワーカー等交流会については、東京圏のIT、あるいはクリエイティブ従事者等と本県在住のテレワーカーが情報交換する場をオンライン上で設け、本県で暮らす魅力や、仕事上のメリット、デメリットなど

の本音を伝えることにより繋がりを作り、本県へ の移住を具体的に検討し てもらうきっかけとする。



消費者行政の推進について

- 若者向け消費者教育教材の制作と、消費者取引のデジタル化に対応した シニア向け消費者教育講師の育成についての狙いと詳細について伺う。
- A 【県民生活課長】 若者向け教育教材については、主に高校生出前講座等で使用する教材を中心に制作したいと考えており、最新の消費者トラブル事例や、法改正を踏まえ、専門家に監修を依頼し、学校の授業

や出前講座で使用できる説明資料、副教材を 作成していく。

シニア向けの講師の育成については、今年度、委託事業でシニア向けにネットサービス等に関する教育講座を既に実施しているが、新たに各市町でもこういった教育講座が実施できるように、ネットサービスでのトラブルになりそうなポイントや消費者行政に関する知識等を学ぶ研修を実施し、講師の養成を図っていく。



ふじのくに空き家バンクの取組について

- ふじのくに空き家バンクの登録件数が少ない。今後に向けての課題と、 登録物件をどのように増やしていくのか伺う。
- A 【住まいづくり課長】 登録件数が9件というのは想定していたよりも少ない。いかにして効果的な周知を行っていくかということが課題と考えている。



件数を増やすために、不動産関係団体、あるいは市町への協力依頼のほか、かけがわランド・バンク、藤枝市の空き家ゼロにサポーター、こういったNPOの団体等に対して、空き家の情報の提供を依頼するとともに、これら



の団体のホームページと県の空き家バンクのホームページのリンクづけを現在進めている。また、農地バンクの運営を実施している静岡県農業振興公社とも連携をし、ホームページのリンクづけを現在進めている。県の空き家バンクの掲載メリットである建物状況調査の無料実施や移転費の補助制度などを積極的に広報し、成約した物

件、住まい手に対してのヒアリングを実施 し、ホームページで発信していく。

─「ふじのくに空き家バンク」は こちらからご覧になれます



毎月第3金曜日夜7時30分 FM八口一出演中

県政をもっと身近に! 県の課題や旬の話題を 生の声でお届けします!!



WEB サイト、SNS などでも活動報告をしております。





いとう和子事務所

お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください! 〒437-0215 静岡県周智郡森町森1717-1 クリエイト2階 TEL 0538-31-2901 FAX 0538-31-2902